



島根半島・宍道湖中海  
ジオパーク

# 「宍道」の名前がついた魚の化石 シンジウキエソが 新種として認定!!



## 宍道化石 シンポジウム

2025 2/22 [土]

会場 | モニュメントミュージアム来待ストーン  
〒699-0404 島根県松江市宍道町東来待1574-1

対象:小学生以下  
申込不要

### 第1部

シンジウキエソ  
特別ワークショップ 10:00~12:00

#### 「来待石にシンジウキエソを描いてみよう」

化石をヒントにシンジウキエソの当時の  
姿をイメージして絵を描いてみよう

準備するもの: よごれても良い服



#### 「シンジウキエソを食べてみよう」+

シンジウキエソに最も似た魚を  
食べてみよう



### 第2部

基調講演 13:30~15:30

【講演後にシンジウキエソに近い種をご試食していただきます】

#### 講師

北九州市自然史・  
歴史博物館 名誉館員  
藪本 美孝



#### 講師

島根大学名誉教授/  
島根半島・宍道湖中海  
ジオパーク専門員  
野村 律夫



「シンジウキエソと現在のウキエソと  
の違いや魚の見分け方などについて  
お話します。」

「50年も前に発見されたこの化石、今に  
なって生き返りました。その背景に化石  
の研究にも流行があったのです。」

### シンジウキエソとは?



シンジウキエソは島根県松江市宍道町上来待で発見された魚の化石で、昨年(2024年)新種として発表された日本初のウキエソの仲間の化石です。今からおよそ1600万年前の新生代中新世という時代にすんでいました。化石が発見された地層は久利層と呼ばれ、深さ200mから1000mの深い海に堆積した地層と考えられています。学名の日本語読みはヴィンシグエリア・シンジエンシス、学名は *Vinciguerria shinjiensis* です。シンジウキエソは和名(日本語名)で、産地の宍道にちなんだ名前です。和名は日本だけですが、学名は世界中どこでも通用する名前です。

お問い合わせ

宍道公民館 TEL.0852-66-0811

主催: 松江市宍道公民館運営協議会・モニュメントミュージアム来待ストーン

後援: 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会